

[illegible]

改 正 後

現 行

〔第2-2表の記入方法等〕

項 目	記 入 方 法 等
事業着工年度	当該事業の着工年度を西暦で記入する。
事業工期	当該事業の工事期間を記入する。
評価期間	当該事業の工事期間＋一定期間（40年）の年数を記入する。
区分（①）	総費用の算定対象となる各施設の当初建設時点の事業区分を「国営」、「県営」、「その他」のいずれかを記入する。
施設番号（②）	総費用の対象となる施設名及び施設番号を記入する。
施設名（施設部位）（③）	なお、予防保全計画等に基づき、施設の部位ごとに細分化して再整備を行う場合は、同一の再整備の周期等ごとにグループ化し、それぞれに施設部位名や対策区分（補修、改修等）を記入するとともに、枝番号を付して整理する。
再整備費	
1 回当たりの再整備費（④）	施設名（施設部位）（③）で整理した施設部位等（枝番号の施設部位）ごとに、事業完了の翌年度から評価終了年度までの期間内に行う再整備の1回当たりの費用を記入する。
初回再整備年度の経過年数（⑤）	施設名（施設部位）（③）で整理した施設部位等（枝番号の施設部位）ごとに、基準年度（評価年度）を0として、そこから起算した事業完了の翌年度以降に行う初回の再整備年度までの経過年数を記入する。
再整備の周期年数（⑥）	施設名（施設部位）（③）で整理した施設部位等（枝番号の施設部位）ごとに、再整備を行う周期を記入する。
再整備回数（⑦）	施設名（施設部位）（③）で整理した施設部位等（枝番号の施設部位）ごとに、事業完了の翌年度から評価終了年度までの期間内における再整備回数を記入する。
再整備換算係数（⑧）	「（参考）費用の現在価値化に用いる換算係数の算式」の②の算式により、初回再整備年度の経過年数（⑤）、再整備の周期年数（⑥）、再整備回数（⑦）等を基に再整備換算係数を算定して記入する。
現在価値化再整備費（⑨）	施設名（施設部位）（③）で整理した施設部位等（枝番号の施設部位）ごとに、1回当たりの再整備費（④）を再整備換算係数（⑧）を用いて現在価値化した額を記入し、施設単位ごとに該当する各施設部位の再整備費の合計を記入する。

改 正 後

現 行

項 目	記 入 方 法 等
評価終了時点の資産価額	
最終整備年度の経過年数 (⑩)	予防保全計画等に基づき再整備を行う施設部位等（枝番号の施設部位）については、基準年度（評価年度）を0として、そこから起算した評価期間内の最終の再整備年度までの経過年数を記入し、施設全体については、評価終了年度までの間で最後に行う整備年度までの経過年数を記入する。
資産の残存年数 (⑪)	予防保全計画等に基づき再整備を行う施設部位等（枝番号の施設部位）については、最終の再整備年度を0として、そこから起算した評価終了年度の資産の残存年数を、施設全体については、評価終了年度までの間に行う最終の整備年度を0として、そこから起算した評価終了年度の資産の残存年数を記入する。
残存率 (⑫)	予防保全計画等に基づき再整備を行う施設部位等（枝番号の施設部位）については、再整備の周期年数 (⑥) 及び資産の残存年数 (⑪) を用いて、施設全体については、再整備の周期年数 (⑥) 及び第1表の耐用年数 (⑫) を用いて残存率を算定して記入する。
資産価額 (⑬)	予防保全計画等に基づき再整備を行う施設部位等（枝番号の施設部位）については、1回当たりの再整備費 (④) を、施設全体については、評価終了年度までに行う最終の整備に要する費用を記入する。
評価終了時点の資産価額 (⑭)	施設全体又は施設部位等（枝番号の施設部位）ごとに残存率 (⑫)、資産価額 (⑬) を用いて評価終了時点の資産価額を算定して記入する。
用地費 (⑮)	施設ごとに第1表の用地費 (⑭) の小計を記入する。
現在価値化資産価額 (⑯)	評価終了時点の資産価額 (⑭) と用地費 (⑮) の計を評価終了年度の割引率を用いて現在価値化した額を記入する。
計 (⑰)	施設単位ごとに施設部位等（枝番号の施設部位）の現在価値化資産価額 (⑯) の合計を記入する。

改 正 後

現 行

エ 総費用の総括

(第3表)

区分	施設 番号	施設名	事業着工 時点の 資産価額	当該事業費	再整備費	評価終了 時点の 資産価額	総費用
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧ = ④+⑤+⑥-⑦ (千円)
			(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
国営	1	〇〇頭首工(本体)	493,639	561,245	224,447	41,990	1,237,341
国営	2	〇〇揚水機場	0	206,543	104,301	8,671	302,173
国営	3	××揚水機場	0	566,708	313,635	98,290	782,053
国営	4	△△揚水機場	0	5,584	0	0	5,584
国営	5	〇〇幹線用水路	754,966	0	2,508,676	521,309	2,742,333
県営	6	××支線用水路	146,692	0	50,956	7,141	190,507
県営	7	水管理施設(システム)	104,211	0	215,469	16,945	302,735
その他	8	団ほ □□地区末端水路	2,009	0	0	0	2,009
	9						
	10						
		合計	1,501,517	1,340,080	3,417,484	694,346	5,564,735

改 正 後

現 行

〔第3表の記入方法等〕

項 目	記 入 方 法 等
区分 (①)	総費用の算定対象となる施設について、当初建設時点の事業区分を「国営」、「県営」、「その他」のいずれかを記入する。
施設番号 (②)	総費用の対象となる施設名及び施設番号を記入する。
施設名 (③)	なお、事業着工年度以前に実施された更新整備又は施設機能の向上をもたらす整備が当該施設の一部を対象として行われ、以降の再整備年度が他の部分と異なる場合等には、その整備の対象となった一部施設については、別の施設名として整理する。(例:〇〇幹線水路-2)
事業着工時点の資産価額 (④)	第1表の計 (⑪) から各施設の事業着工時点の資産価額を記入する。
当該事業費 (⑤)	第1表の現在価値化当該事業費 (⑫) から各施設の当該事業費を記入する。
再整備費 (⑥)	第2-1表の現在価値化再整備費 (⑮) 又は第2-2表の現在価値化再整備費 (⑱) から各施設の再整備費を記入する。
評価終了時点の資産価額 (⑦)	第2-1表の現在価値化資産価額 (⑲) 又は第2-2表の計 (⑳) から各施設の評価終了時点の資産価額を記入する。
総費用 (⑧)	事業着工時点の資産価額 (④) から評価終了時点の資産価額 (⑦) で整理した各費用を用いて、総費用を算定して記入する。

現 行

(参考表1)

– 57 –

改 正 後

現 行

〔参考表1の記入方法等〕

項 目	記 入 方 法 等
施設番号・施設名（施設部位）	第1表の施設番号（②）、施設名（③）から、施設番号と施設名を記入する。 なお、予防保全計画等に基づき施設を部位ごとに細分化して再整備費等を整理する場合には、第2-2表の施設番号（②）、施設名（施設部位）（③）から、施設番号と施設名等を記入する。
整備区分	当初建設は施設の新設、更新1は当初建設後の最初の更新整備、更新2は更新1の後の更新整備に対応して、該当する年度、費用等を記入する。
事業（工事）着工年度	当初建設は各施設の当初建設、更新1は当初建設後の最初の更新整備、更新2には更新1の後の更新整備の工事着工年度、当該事業には当該事業の着工年度を西暦で記入する。 ※ 当該事業の着工年度は、各施設の工事着工年度ではなく、当該事業の着工年度を記入する。
事業（工事）完了年度	当初建設は各施設の当初建設、更新1は当初建設後の最初の更新整備、更新2には更新1の後の更新整備の工事完了年度、当該事業には当該事業の完了年度を西暦で記入する。 ※ 当該事業の完了年度は、各施設の工事完了年度ではなく、当該事業の完了年度を記入する。
供用開始年度	当初建設、更新整備、当該事業の供用開始年度を西暦で記入する。
決算額	
工事費（償却施設費） 用地費 その他	当初建設、更新1、更新2については参考表2より各費用の決算額を、当該事業については工事計画より、決算額から消費税相当額を除いた各費用の額を記入する。
小計	各費用を用いて、当初建設、更新1、更新2、当該事業の区分ごとに工事費（償却施設費）、用地費、その他の決算額の計を記入する。
換算額	
工事費（償却施設費） 用地費 その他	当初建設、更新1、更新2については参考表2より各費用の換算額を、当該事業については各費用の決算額を記入する。
小計	各費用を用いて、当初建設、更新1、更新2、当該事業の区分ごとの工事費（償却施設費）、用地費、その他の換算額の計を整理する。

改 正 後

現 行

項 目	記 入 方 法 等
耐用年数	各施設の耐用年数を記入する。 なお、当初建設以降に再整備（更新１、更新２）が行われ、それによって再整備の年度（耐用年数）が再設定される場合は、更新１、更新２の区分ごとに耐用年数を記入する。 また、予防保全計画に基づき再整備を行う場合は、施設部位等にグループ化した再整備の周期を記入する。
整備年度	表頭に対象施設の当初建設から評価終了年度までの年度を和暦・西暦で記入するとともに、基準年度（評価年度）を０として、そこから起算した経過年数を記入する。 次に施設ごとに当初建設から評価終了年度までに行う整備の年度を着色して表示し、予防保全計画等に基づき再整備を行う場合は、施設部位等ごとにグループ化した再整備年度を表示するとともに、整備完了の翌年度からの次の整備までの経過年数を記入する。

改 正 後

現 行

カ 当初・更新整備費の現在価値化

(参考表2)

(単位:千円)

1	〇〇頭首工(本体)	当初建設	西暦	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	1975	1976																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
---	-----------	------	----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

改正後

現行

〔参考表２の記入方法等〕

<u>項 目</u>	<u>記 入 方 法 等</u>
<u>施設番号</u>	<u>第１表の施設番号（②）に基づき、施設番号を記入する。</u>
<u>施設名</u>	<u>第１表の施設名（③）に基づき、施設名を記入する。</u>
<u>西暦</u>	<u>当初建設、更新１、更新２の区分ごとに各施設の工事着工年度から工事完了年度までの年度を西暦で記入する。</u>
<u>支出済費用換算係数</u>	<u>当初建設、更新１、更新２の区分ごとの工事期間中の各年度に応じた支出済費用換算係数を記入する。</u>
<u>決算額</u>	<u>当初建設、更新１、更新２の区分ごとに年度別決算額から消費税相当額を除いた工事費（償却施設費）、用地費、その他（工事費（償却施設費）と用地費以外の費用）を記入する。</u>
<u>換算額</u>	<u>決算額の項目ごとに、決算額を工事期間中の各年度に応じた支出済費用換算係数を用いて評価年度に換算した額を記入する。</u>

改正後	現行
第4節・第5節 [略]	第4節・第5節 [略]